

## 8. The SYMPHONY SPACE

廃ビルになっていた映画館を民間デベロッパーが再開発しようとしたことをきっかけに、地域住民が取り壊しの反対運動を起こし、ビルの救済と文化施設としての再利用を訴え、地域住民のボランティアによって劇場に生まれ変わった施設。設立後 20 年が経過した現在では、NPO としての運営が軌道に乗っているが、メンバーシップの勧誘活動を中心に、約 100 名のボランティアが登録され、活動を行っている。

### 施設・運営の概要

運営母体	The Symphony Space
所在地	2357 Broadway (at 95 <sup>th</sup> Street), New York, NY 10025
TEL	212-864-1414
FAX	212-932-3228
開館年月	1978 年
複合形態	単独館
施設特性	音楽、演劇、ダンス等
座席数	820
年間運営予算	年間約 2.2 億円 (200 万 US\$)
自主事業数	年間約 200 本
立地都市人口	731 万人(1992 年)
組織体制	有給スタッフ数



### ボランティア制度の概要

名称	—
導入時期	・1978年（劇場の設立そのものがボランティアによって行われた）
登録人数	・約100名（うち25～30名が積極的に活動）
導入の経緯	・観客ににこやかに接し、メンバーシップの勧誘や、チラシ、公演カレンダーの配布等を行い、シンフォニー・スペースの顔としての役割を担ってもらう。
活動内容	・カウンター業務（友の会メンバー勧誘業務）、ダイレクトメールの発送業務。
募集方法	・ボランティアメンバーによる勧誘（メンバーシップ勧誘用紙にボランティア参加希望の記入欄がある）、プッシュホン電話の問い合わせで参加者名・連絡先を自動録音。
研修	・（誰にでもできる業務なので）特に行っていない。
特典・実費支給	・DM ボランティアは勤務時間が10時間になるとメンバー資格（チケットが2割～半額割引になる）が与えられる。 ・映画会のボランティアは映画が無料で鑑賞できる。
その他	・ボランティア歴5年のボランティアがコーディネーターを務め、スケジュール調整等を行っている。 ・ボランティア参加の動機としては、報酬や役得よりも「This is ours!」、すなわち「この劇場は私たちのものだ」という強い意識に支えられている。